

COH-E形 高速度地絡過電流継電器 誘導円筒形

Type COH-E Induction Cup Type High Speed Ground Overcurrent Relay

本器は、交流回路の地絡保護を目的とする誘導円筒形の高速度地絡過電流継電器で、送電線における地絡故障の高速度検出に適しています。

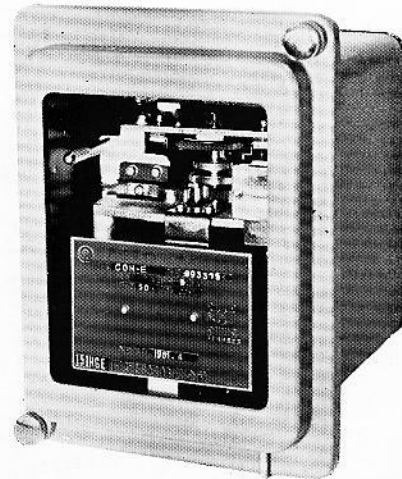
動作時間は整定電流値の200%以上の地絡電流が流れたとき40ms以下、消費電力はタップ電流が流れたとき0.6VAです。

構造と動作

本器の駆動部は、可動接点を取り付けたアルミニウム製のきわめて薄い円筒形の回転子が4極からなる外側固定子と内側柱状鉄心との狭い空隙中を回転する構造とし、相対する2極に主コイルと二次コイルを、他の2極には極コイルを巻き、二次コイルは極コイルに接続されています。

主コイルの電流は誘導円筒に渦電流を誘起すると同時に極コイルにも二次電流を誘起し、この位相の異った電流によつて、その積に比例したトルクを誘導円筒に与え、接点を閉路する構造としたものです。構造上、安定したトルクを発生することができるため、低慣性能率でかつ軽量の回転子は高速度、高感度で動作します。

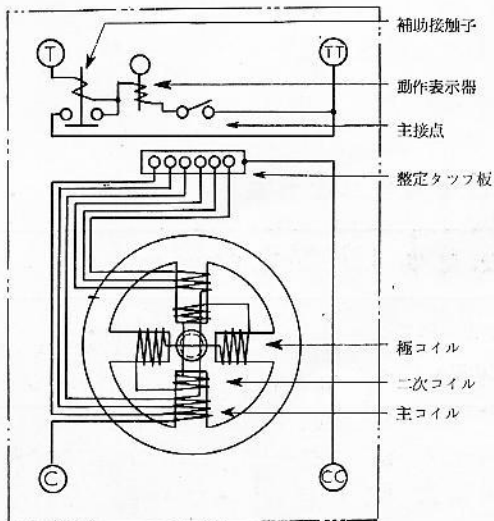
誘導円筒は独特なクラッチスプリングを介して、駆動軸に取り付けられているため、線路の地絡故障



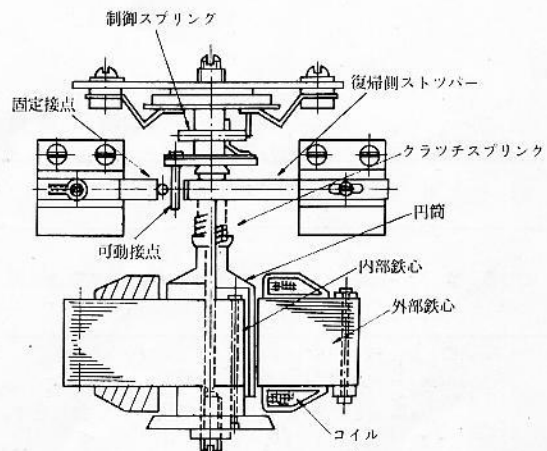
第1図 COH-E形 高速度地絡過電流継電器 (埋込形)

時において継電器に過大な電流が流れて、回転子に強大なトルクが作用した場合には、回転子と軸との間に設けられた摩擦クラッチがスリップして、誘導円筒のみが主接点を閉路した状態で回転を続け、安定した接触を得るとともに、接点機構を保護する構造になっています。特に接点のチャタリングを完全に防止しており、また、構造上耐震耐衝撃性にすぐれています。

接点回路には補助接点と動作表示器を備えており、直接しゃ断器を引はずすことができます。



第2図 内部接続図 (裏面)



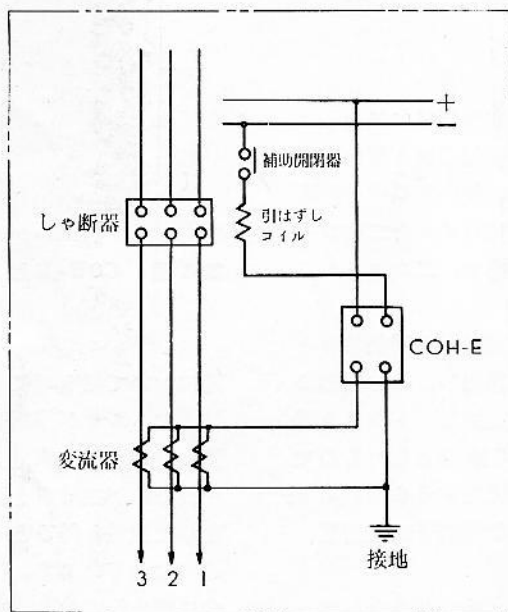
第3図 内部構造図

動作電流値の整定

電流整定用のタップを設けており、タップ板には始動電流値が銘記してあります。0.3—0.6—1.0—

1.5—2.0—2.5 A の6タップを設けていますから、系統に合わせて所要のタップ値にプラグをそう入して下さい。

外部接続



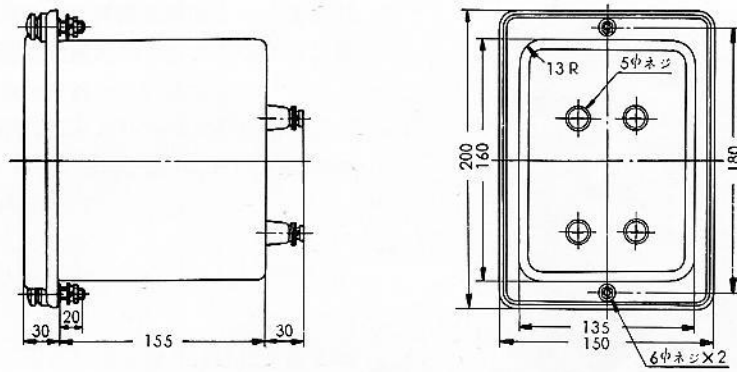
第4図 外部接続図(裏面)

COH-E形 高速度地絡過電流継電器標準定格表

形式	定格	電流整定範囲	消費電力	補助接触子 表示器	周波数	備考
COH-E	1 A cont	0.3-0.6-1.0-1.5-2.0-2.5A	タップ電流にて 0.6 VA	1 A または 2 A	50 ~ または 60 ~	埋込形

- (注) 1. 重量は約 4.2 kg です。
2. 引出形も標準として製作しております。

外形寸法



第5図 COH-E形継電器外形寸法図(埋込形)

—ご注文に際しては次の事項をご指定下さい—

1. 形 状 : 埋込形、引出形の別
2. 用 途 : 使用回路
3. 周 波 数 : 50、60 への別
4. 制 御 回 路 : シャ断器の定格
補助接触子 1、2 A の別
5. そ の 他 : 標準外の仕様がある場合